

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 2 月 8 日

公表: 令和 6 年 3 月 7 日

事業所名: こどもデイサービス じゃんけんぼん 職員数: 9 人

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	法令を遵守したスペースを確保しています。また、天井も高く、快適に過ごせる環境を整え、お子様が安全に過ごせるように配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	9	0	法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上配置しています。また、おでかけなどの屋外活動には、人員配置を多めにして安全に配慮しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	出入り口及び通路に段差はなく、トイレは洋式トイレで引き戸にするなどのバリアフリーを行い、快適にご利用いただける環境を整えています。また、ロッカーや下駄箱、タオルかけには名札を付け、わかりやすく表示しています。指ハサミ防止ストッパー等を取り付けて安全対策も実施しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	サービス提供終了後にトイレやフロアなどの掃除を行い、使用したマットや療育玩具などは必ず消毒をしています。また、整理整頓や活動に合わせてレイアウト変更をするなど、快適に過ごしていただけるよう環境を整えています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	毎月ミーティングを行い、全職員で問題点の把握に努め、計画し、実行することで改善を行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	毎年12月にアンケート調査を実施しています。貴重なご意見や自己評価の結果を真摯に受け止め、改善に繋げる努力をしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	毎年12月にアンケート調査を実施し、自己評価を行い、その結果はホームページで公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	-		現在は行っていないため、今後検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	外部講師による療育の研修を2か月に1回行い、支援の質の向上に努めています。また、外部の療育や虐待に関する研修等にも参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	6か月に一度またはその他必要に応じて、アセスメントを行い、個別支援計画を作成し支援を行っています。その際、ケース会議を行い、保護者様とお子様のニーズや課題に合うよう目標設定を心がけています。また、お子様のニーズや課題等を共有できるよう保護者様と話す時間を大切にしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	モニタリング、支援者会議、個別支援計画書などの様式を整えて、状況を把握するように努めています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	アセスメントをしてお子様の特性や課題、ニーズなどに合うように具体的な支援を計画し、職員で共有して支援を行っています。家族支援や地域支援に関しては、家族からの相談に対する助言や相談支援事業者との連携による個別のケース検討のための会議への参加をしています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	個別支援計画を職員全員で共有し、お子様の特性や課題に合う活動内容や学習内容を検討し、支援をしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	お子様の課題やニーズ、興味に合うプログラムを話し合っています。今年度は、外部講師による体操教室やダンス、季節に応じた野菜作りや家族の日制作、年賀状作りなどの新しい活動を取り入れています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	お子様の特性や課題に合う活動内容を毎回検討しています。初詣や夏祭り、おたのしみ会など季節ごとの活動や曜日固定のご利用の場合でも毎週異なるプログラムを楽しんでいただけるように工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	小さな変化を見逃さず、必要に応じてアセスメントを行い、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を策定しています。特に個別活動の重要性を考え、支援しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	支援開始前には打ち合わせをして、支援内容や役割分担を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	8	1	支援終了後にはその日の振り返りを行い、気づいた点や反省、課題等を話し合い、職員で共有しています。また、保護者様からいただいた要望等も共有し、改善に努めています。	勤務日や時間により情報の共有が出来ていない職員もいるため、共有できるように改善に努めてまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	連絡帳やケース記録に記録し、支援の検証や改善に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	6か月に一度以上モニタリングを行い、計画の見直しを行っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	職員全員でお子様の状況を把握して児童発達支援管理責任者が参画しています。	-
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0	9	-	必要に応じて担当者会議を開くなど、連携した支援に取り組んでまいります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	現在、医療的ケアが必要なお子様はいませんが、今後必要な場合は主治医等との連携も必要と心得ています。 また、本人様のかかりつけ医をフェイスシートにご記入いただいています。	医療的ケアが必要なお子様や重症心身障がいのあるお子様を支援する際には、関係機関と連携しながら支援してまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	-	-
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	保護者様や相談支援専門員と連携をしながら、学校、ご家族様、相談支援専門員、市町の福祉課職員等と担当者会議を開くなど、情報共有等を行っています。	職員会議等で移行支援をした内容等を周知してまいります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	-	職員会議等で移行支援をした内容等を周知してまいります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	8	-	現在は連携や助言、研修を受けていないので、今後は検討してまいります。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	保育所や認定こども園等の交流はありませんが、近くの公園等に行き、障がいのない子どもと遊ぶ機会が増えるようにしております。	コロナ禍や保護者様からの希望が少ないため、現在は行っていませんが、必要と判断した場合は計画し実施する予定です。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	9	今年は扶桑町自立支援地域協議会子ども部会に参加しています。	今後も自立支援地域協議会等や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加してまいります。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	連絡帳の記載や送迎時の対話、電話等で積極的にお子様の様子を伝えることや聞くことで、共通理解に努めています。	-
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	9	-	ペアレント・トレーニングは行ってはませんが、保護者様との面談等で助言やケア等を行っています。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	ご契約時や個別支援計画を作成の際、また変更等がある場合にはその都度説明をさせていただいております。	-
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	モニタリングで保護者様のご希望を伺い、ガイドラインに合わせてモニタリングを実施し、説明し、同意を得たうえで計画に基づいた支援を提供させて頂いております。	-
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	送迎時や定期的に電話や訪問、面談を行い、保護者様の支援にもつながるよう助言を行っています。	-
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	今年は活動参観日を設け、多くの保護者様に参加していただき、お子様の活動を観ていただきました。	今後もより保護者様同士の連携が出来るように検討し、実施してまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	保護者様には契約時に説明を行っています。また、苦情窓口を設置し、玄関口に「苦情申出窓口の設置について」のお知らせを掲示し、周知しています。苦情解決マニュアルを作成し、苦情が寄せられた場合は迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。	-
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	年3回のじゃんけんぼん通信を発行し、活動の様子などの情報を発信しています。また、Instagramを開発し、より多くの情報を伝えられるように取り組んでいます。	-
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	保護者様には契約時に説明を行い、法令順守に努めています。個人情報に関わる書類は鍵付きの書棚に保管し、収集・作成・保管・廃棄を適切に行っています。また、利用時には連絡帳等を渡し間違いないように気を付けています。	-
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1	主に絵カードや50音表を用いる等、一人ひとりの障害特性に合わせた支援を心掛け配慮しています。	職員会議等で課題を話し合い、一人ひとりの障害特性に合わせた支援のために改善してまいります。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9	-	今年度は開催していませんが、開催した場合は地域の方のご招待を今後検討予定です。また、見学はどなたでも可能としています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	各マニュアルを作成し、保護者様には契約時に説明を行っています。また、誰でも閲覧することができるように玄関口に各マニュアルを綴じたファイルを設置しています。	-
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	地震や火災、水害の避難訓練を年3回実施しています。また、避難場所の確認を子ども達と一緒に確認をしています。計画的に消防署の方に来ていただいて避難訓練を実施したり、警察署員の方に不審者侵入に対する職員対象の防犯訓練や子ども達対象の連れ去り防止訓練を行っています。	-
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	契約時に服薬などの配慮すべきことを確認しています。また、保護者様からてんかん発作などの状況を伝えてもらい、子どもの状況を把握しています。	-
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	契約時にアレルギーの有無について確認し、一覧表を作成して職員間で共有しています。おやつやクッキングの活動時、お弁当を提供する際にはダブルチェックをしています。	職員にアレルギー一覧表やお弁当の提供の際のダブルチェックなどを周知して、徹底してまいります。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有することで、同じことが起こらないように改善に努めています。	-
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	虐待防止委員会を設置し、研修計画を立て、研修を実施しています。	-
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	「身体拘束等適正化のための指針」を作成し、身体拘束等適正化検討委員会を設置しています。現在、身体拘束は行っていませんが、身体拘束を行う場合には、委員会で検討し、保護者様から同意を得た上で個別支援計画書に記載します。	-

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。